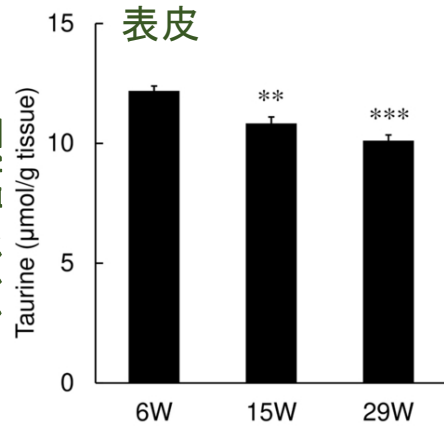
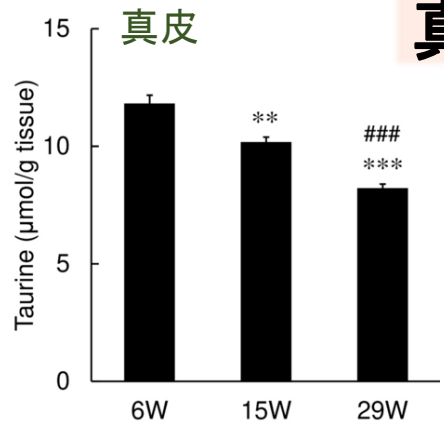


真皮のタウリン不足は皮膚のシワやたるみを助長する

タウリン含有量



マウスの皮膚中のタウリン含有量の変化

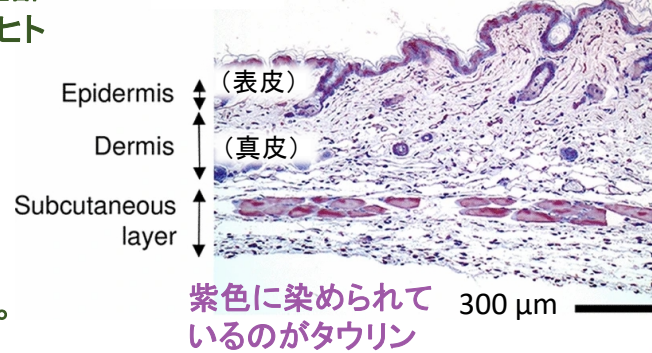


◆マウス(無毛マウス)の15週齢はヒトの20代前半、29週齢はヒトでは30歳前後に相当する。

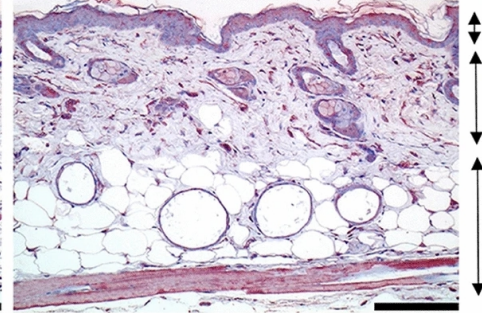
◆15週齢、29週齢と、加齢に伴って皮膚のタウリン含有量が減少していく。

◆表皮よりも真皮の方が、タウリンの減少が顕著である。

《マウス(無毛マウス)の15週齢》

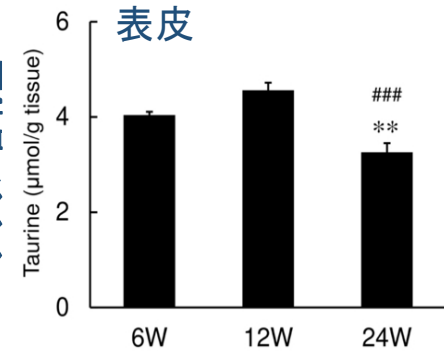


《29週齢》

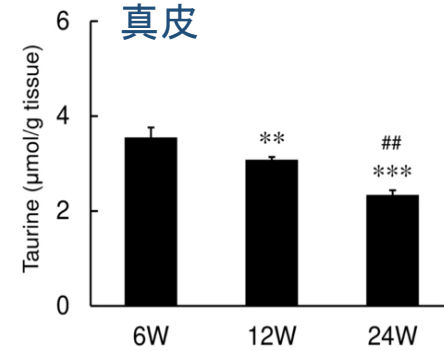


紫色に染められているのがタウリン

タウリン含有量



ラットの皮膚中のタウリン含有量の変化

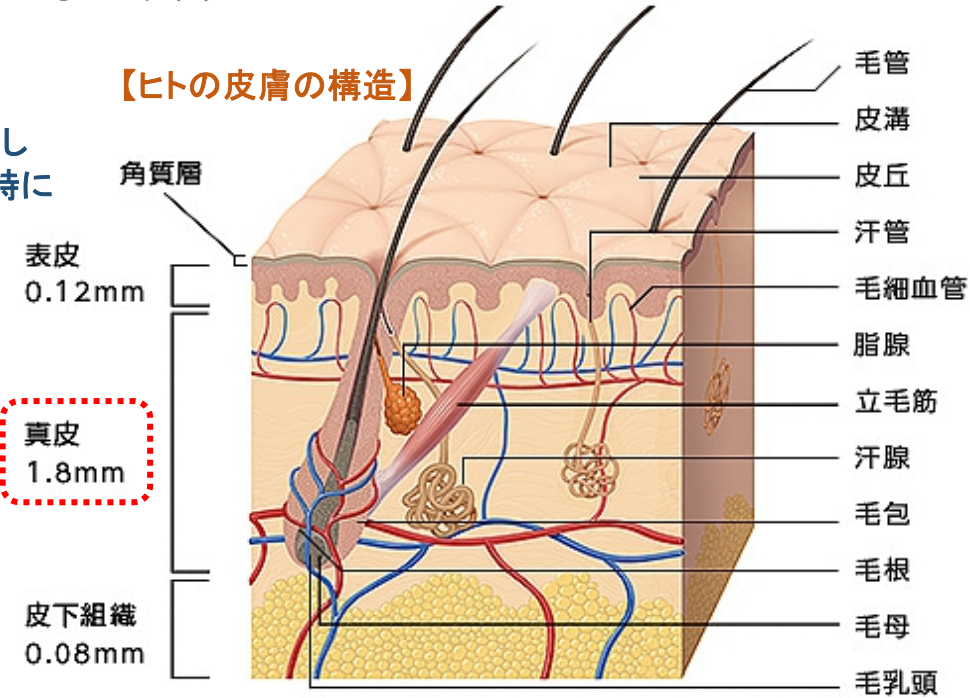


◆ラットの12週齢はヒトの18~20歳、24週齢はヒトでは25~30歳に相当する。

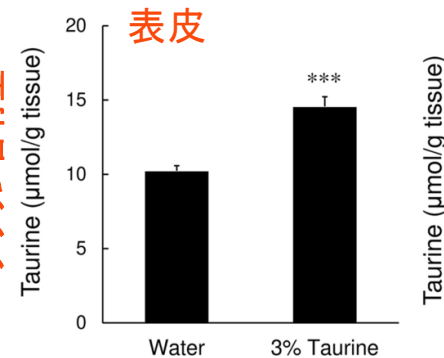
◆表皮では12週齢でタウリン含有量は少し増えるが、真皮では減少し、24週齢では特に真皮のタウリン減少が顕著である。

◆マウスでもラットでも、特に真皮におけるタウリン減少が顕著である。

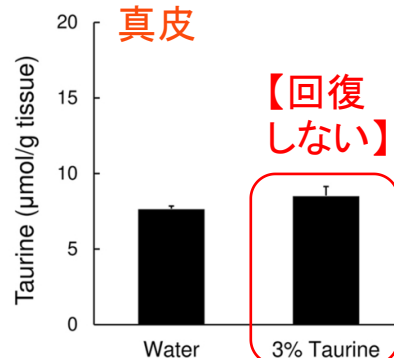
【ヒトの皮膚の構造】



タウリン含有量



飲料水のタウリン補給がマウスの皮膚に与える影響



◆35週齢のマウス(ヒトでは35歳前後)にタウリンを飲料水に混ぜて(3%濃度)、4週間にわたって与えると、表皮のタウリン含有量は大いに増加したが、真皮では殆ど増加しなかった。

◆真皮のタウリン含有量が回復しない理由としては、血流供給・浸透性・細胞の取り込み能力が低いことが示唆される。

【対策(真皮のタウリン濃度を回復させる方法)】

- ① 血流を改善する(最重要)
- ② TAUT(タウリントランスポーター)の発現を維持する
- ③ タウリンを“継続的に”摂る(単発では届かない)